

海遊館特別講座

「海の小さな生き物“ワレカラ”大研究！」参加者を募集します

大阪市港区の海遊館では、平成 28 年 5 月 28 日（土）と 29 日（日）の 2 日間、海遊館特別講座「海の小さな生き物“ワレカラ”大研究！」を開催します。ワレカラは、エビやカニに近い生き物で、1~2cm ほどの大きさです。特別講座では、実際に海でワレカラを採集して観察し、粘土でワレカラのレプリカを作ります。またワレカラの研究者、阪口正樹氏をお招きしその魅力を解説していただきます。

対象は小学 4 年生以上で、募集人数は各回 25 名（合計 50 名）です。応募方法はメールで、締め切りは平成 28 年 5 月 10 日（火）必着です。

ワレカラは、世界中に約 400 種類、日本近海には約 100 種類が知られ、多くは海藻などにつかまりながら生活しています。平安時代の歌に読まれ、古くからその存在は知られていましたが、一般にはなじみの薄い生き物です。しかし、ワレカラは様々な生き物の餌となることで、海の生態系を支えています。

ワレカラをよく観察するとモンスター的な姿に似合わず、独特なダンスやしぐさがとてもかわいらしい生き物です。海遊館では、本講座を通して小さなワレカラの魅力をお伝えし、多くの方にワレカラファンになっていただきたいと考えています。



ウミモワレカラ



ワレカラのレプリカ（実物の約 10 倍の大きさ）
粘土講師：中村直美 作

1. 【特別講座の概要】

開催日 平成 28 年 5 月 28 日（土）、29 日（日） *いずれも 1 日で終了

参加費 1,300 円/人（海遊館の入館料含みません）

内 容 9:15～ 集合

9:30～ ワレカラ講座（講師：阪口正樹氏）

10:00～ ワレカラ採集（天保山岸壁）

ワレカラ観察（レクチャールーム）

10:45～ ワレカラのレプリカ作り

12:00 終了

2. 【特別講座の募集要項】

対 象 小学 4 年生以上（保護者の同伴はできません。一緒に参加ください）

定 員 各回 25 名（計 50 名）

申込方法 メールでの応募となります。メール本文に応募内容を記載してください。

- ① メールタイトル「ワレカラ特別講座」係
- ② 代表者の氏名（ふりがな）、年齢
- ③ 代表者の居住地（〇〇県〇〇市など）
- ④ 電話番号（お持ちの方は必ず携帯電話番号と FAX 番号も）
- ⑤ 参加者全員（5 名まで）の氏名（ふりがな）、年齢、学年
- ⑥ 参加合計人数
- ⑦ 参加希望日

※メール 1 通につき、5 名様まで有効。重複申し込みは、2 通目以降のメールが無効になります。

※応募多数の場合は抽選を行い、結果は 5 月 13 日頃、当選者にのみ通知します。

※募集にあたって収集した個人情報は、本イベントに関する目的のみに使用します。

※記載事項に不備がある場合は、抽選の対象外となります。

応 募 先 warekara-s@kaiyukan.com

問い合わせ 海遊館電話インフォメーション 06-6576-5501 （9:30～17:00）

締 切 平成 28 年 5 月 10 日（火）必着

阪口正樹 氏 プロフィール

1948 年生まれ。現在、神戸女子学院大学非常勤講師。兵庫生物学会会員。

大阪湾産のワレカラ類研究の第一人者。大阪湾をフィールドに、約 20 種類のワレカラの分布や生態、生活史などの調査・研究を続けている。また、DNA を用いた遺伝子解析により、ワレカラ類の分類や系統についての研究にも取り組んでいる。近年のワレカラ類に関する主な論文は以下の通り。

「大阪湾初記録のウミモワレカラ（端脚目、ワレカラ科）」阪口正樹. 2009. 南紀生物, 51(2):163-164.

「大阪湾産のワレカラ科（甲殻綱・端脚目）」阪口正樹. 2012. 兵庫生物, 14(3):201-212.

「mtDNA の遺伝子解析によるワレカラ（甲殻綱、端脚目）の同定」谷良夫, 阪口正樹. 2013. 兵庫生物, 14(4):271-278.

「mtDNA によるウミモワレカラ（甲殻綱、端脚目）の系統地理」阪口正樹, 谷良夫. 2013. 兵庫生物, 14(4):279-282.

「西日本におけるウミモワレカラ *Caprella algaceus* の検討」阪口正樹, 谷良夫. 2014. 兵庫生物, 14(5):347-350.

「大阪湾沿岸浮き棧橋のワレカラ（甲殻綱）と生息環境」阪口正樹, 谷良夫. 2016. 兵庫生物, 15(2)（印刷中）

「トゲワレカラ（甲殻綱、端脚目）の系統地理」谷良夫, 阪口正樹. 2016. 兵庫生物, 15(2)（印刷中）